

# 企業在籍型職場適応援助者（企業在籍型ジョブコーチ）による支援の効果及び支援事例に関する調査研究

障害者職業総合センター研究部門

事業主支援部門

内藤眞紀子、野澤紀子、岩佐美樹、伊藤丈人

# ジョブコーチ支援の内容

- ・障害特性に配慮した雇用管理に関する支援
- ・配置、職務内容の設定に関する支援

- ・職務の遂行に関する支援
- ・職場内のコミュニケーションに関する支援
- ・体調や生活リズムの管理に関する支援



- ・障害の理解に係る社内啓発
- ・障害者との関わり方に関する助言
- ・指導方法に関する助言

- ・安定した職業生活を送るための家族の関わり方に関する助言

# アンケート調査

## ○目的

企業在籍型ジョブコーチを配置している企業における障害者の雇用状況、定着状況、企業在籍型ジョブコーチの役割と効果、課題等を把握する

## ○対象

2013年度～2017年度にジョブコーチ養成研修を修了した企業在籍型ジョブコーチが所属する事業所の管理職及び企業在籍型ジョブコーチ

## ○実施時期

2019年1月～2月

### (1) 事業所調査

対象：企業在籍型ジョブコーチが所属する事業所の管理職

回答：248社（回収率69.9%）

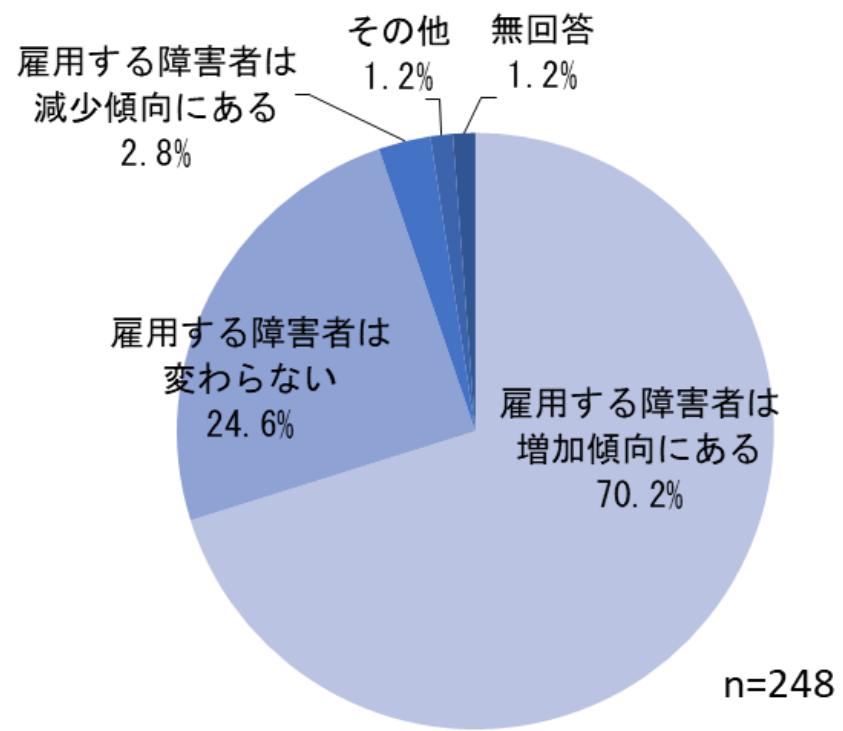
### (2) 個人調査

対象：企業在籍型ジョブコーチ

回答：570名（回収率65.0%）

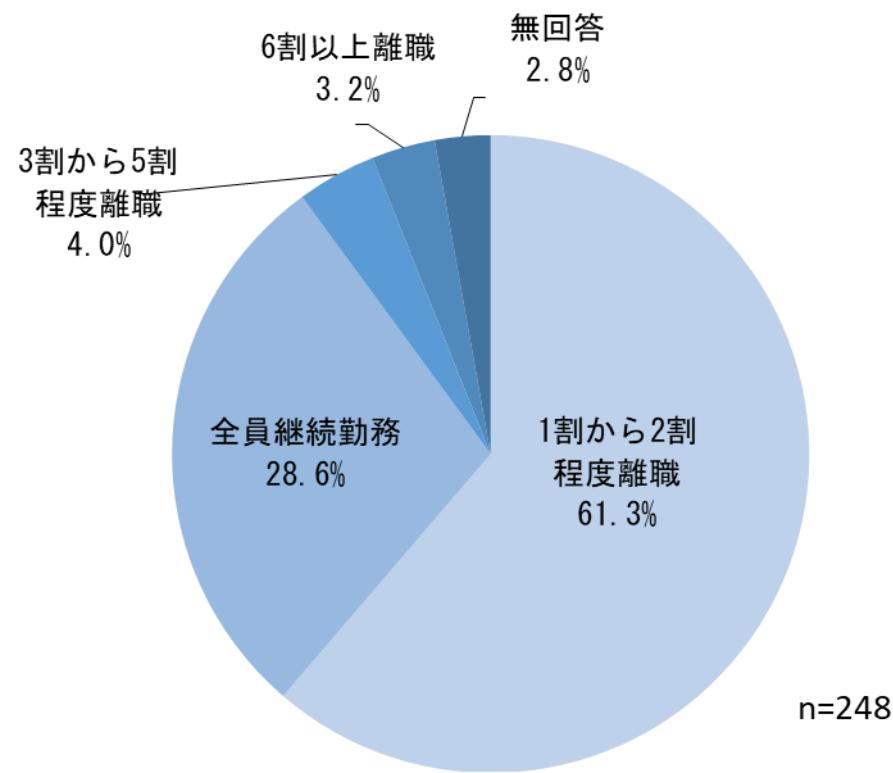
# 結果（事業所の管理職が回答）

## <障害者雇用の動向>



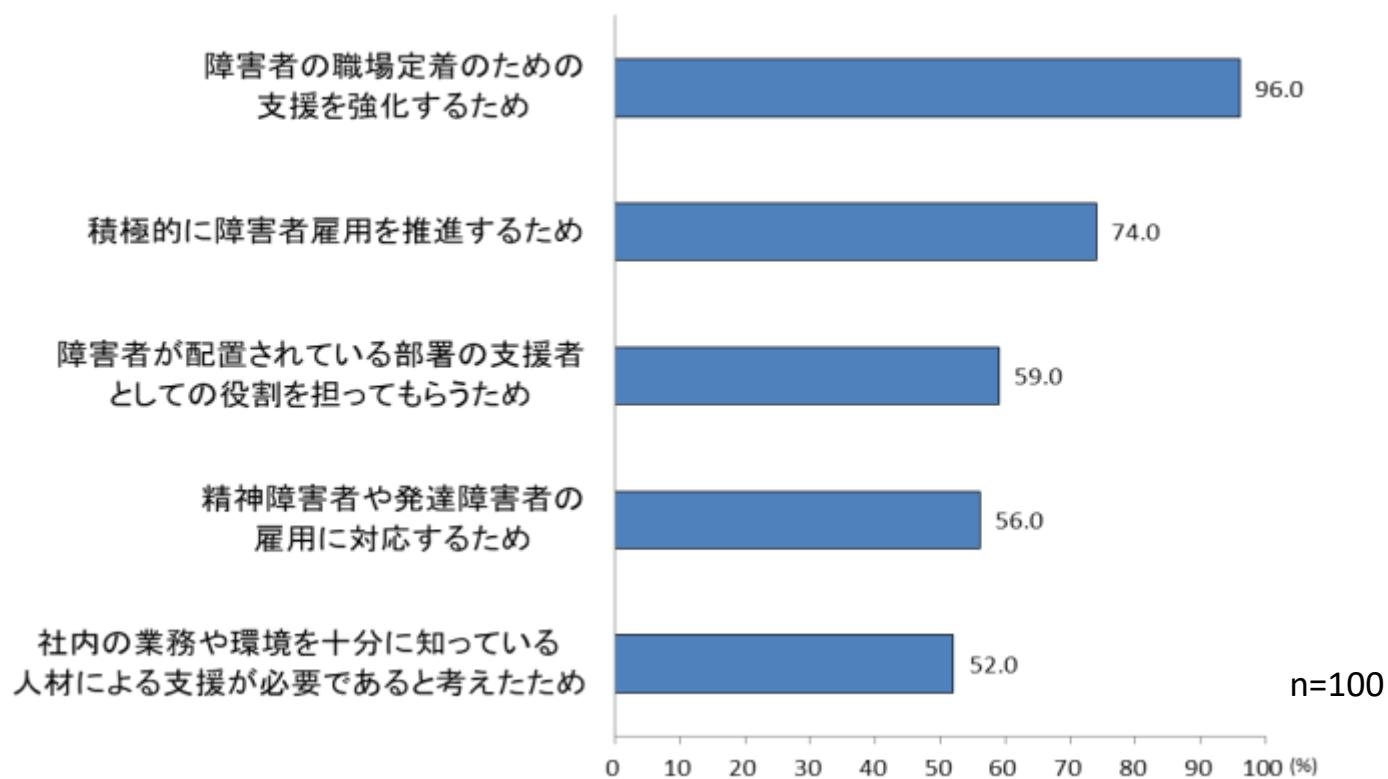
# 結果（事業所の管理職が回答）

## <障害者の定着状況（過去3年）>



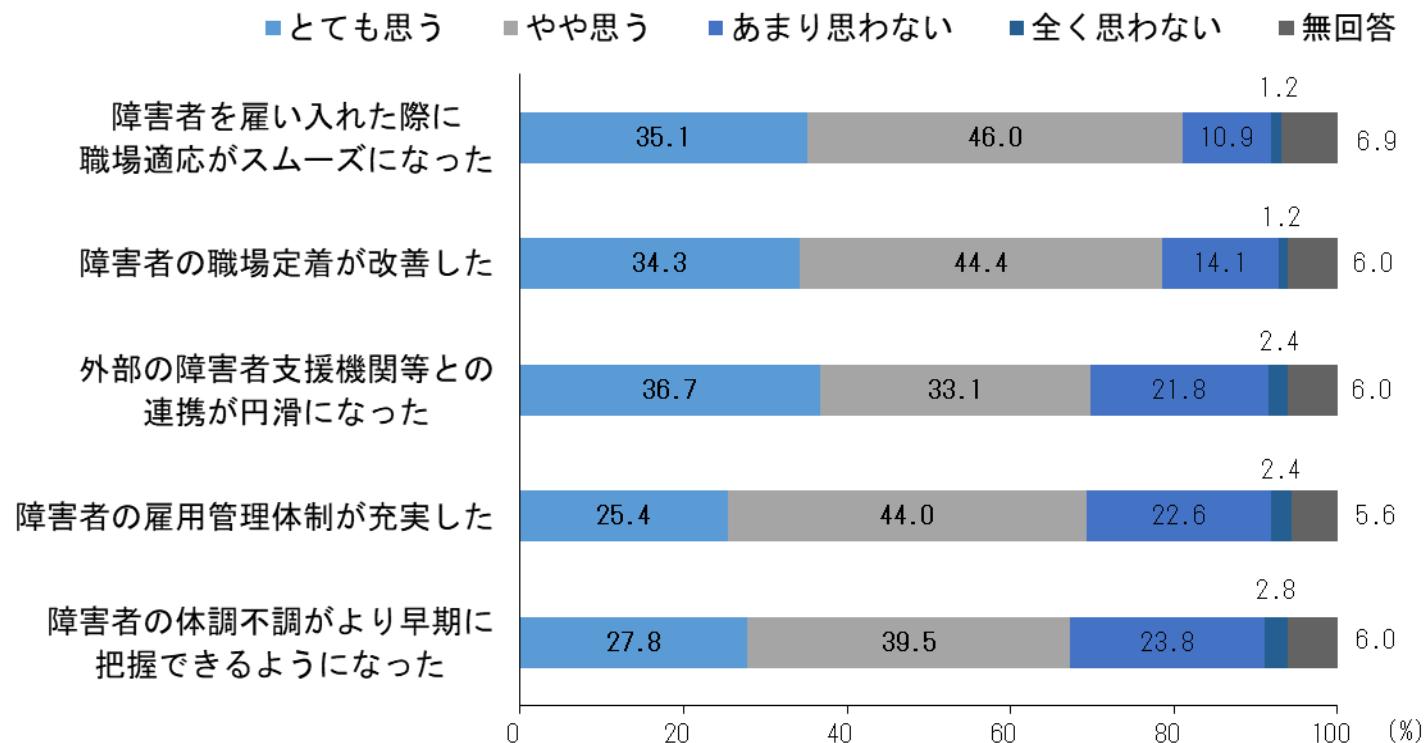
# 結果（事業所の管理職が回答）

<企業在籍型ジョブコーチの配置理由（上位5項目）>



# 結果（事業所の管理職が回答）

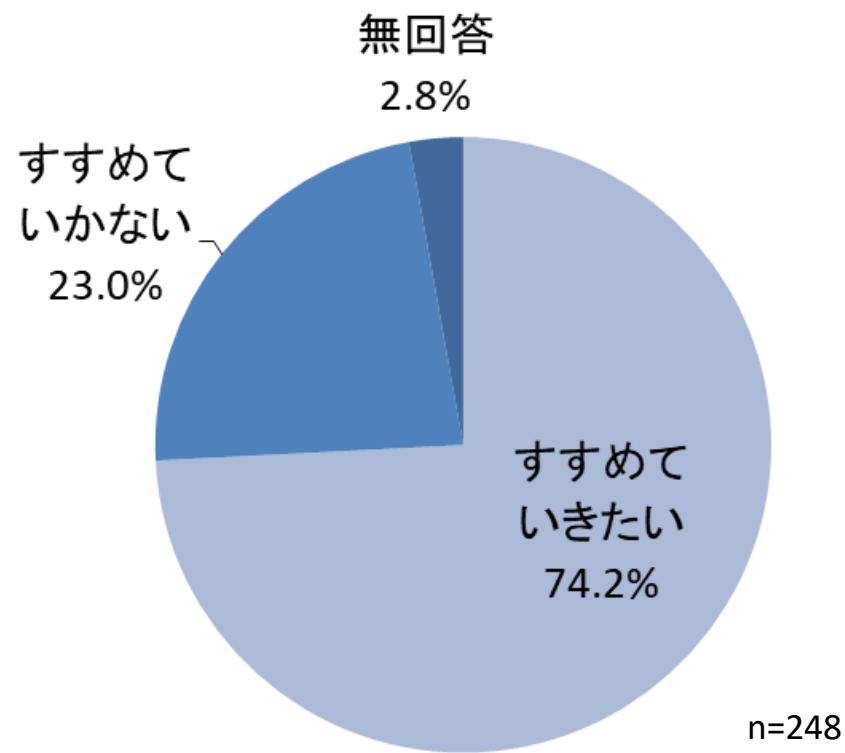
## <企業在籍型ジョブコーチ配置の効果（上位5項目）>



n=248

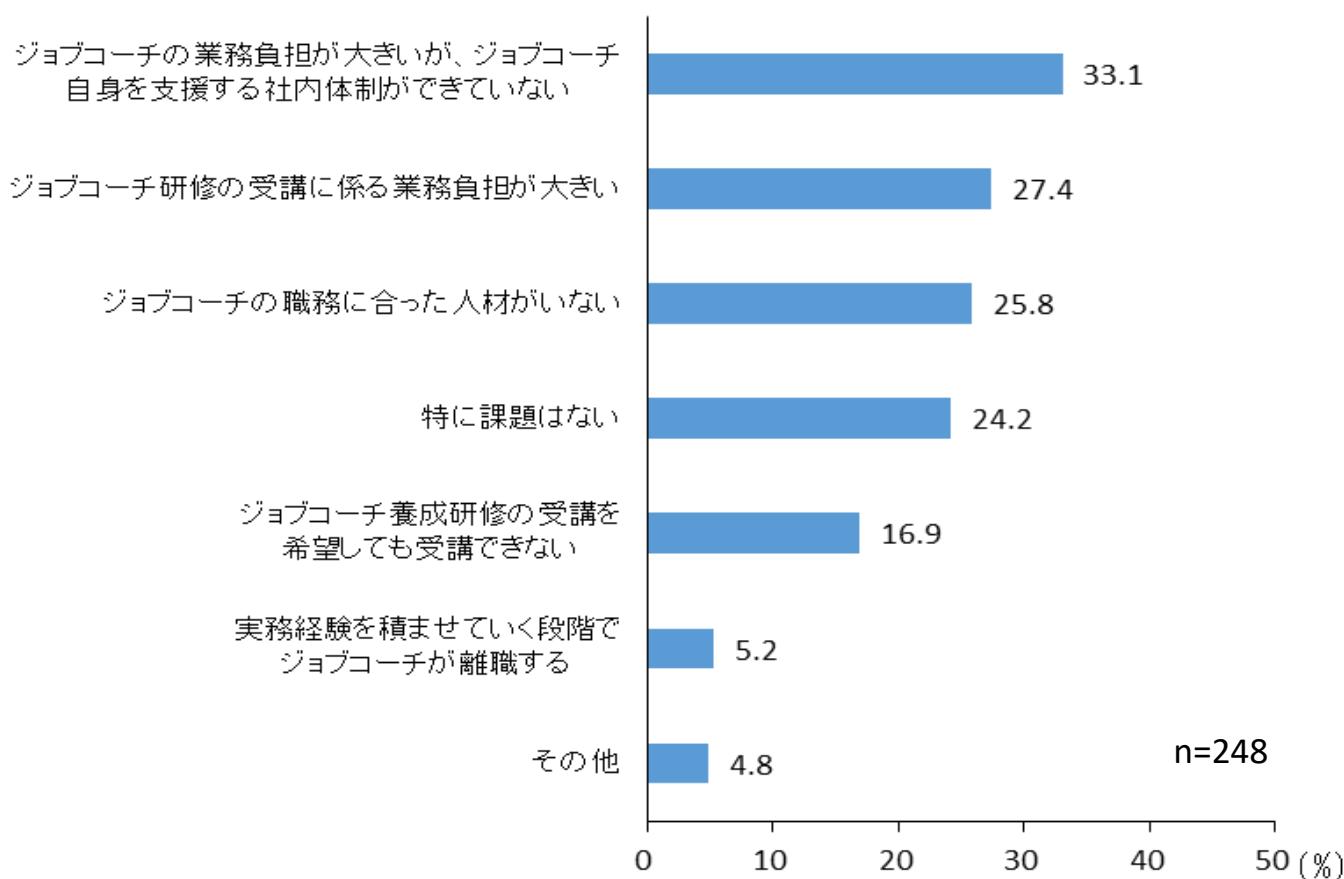
## 結果（事業所の管理職が回答）

＜企業在籍型ジョブコーチ配置の方針＞



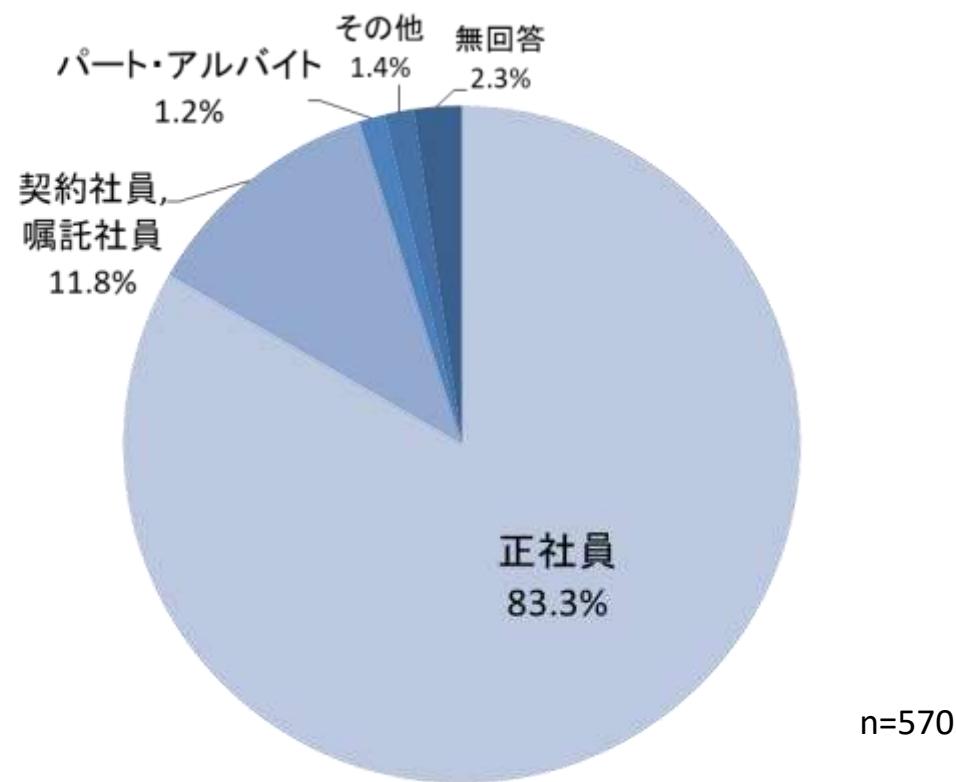
# 結果（事業所の管理職が回答）

## <企業在籍型ジョブコーチの配置をすすめる上での課題>



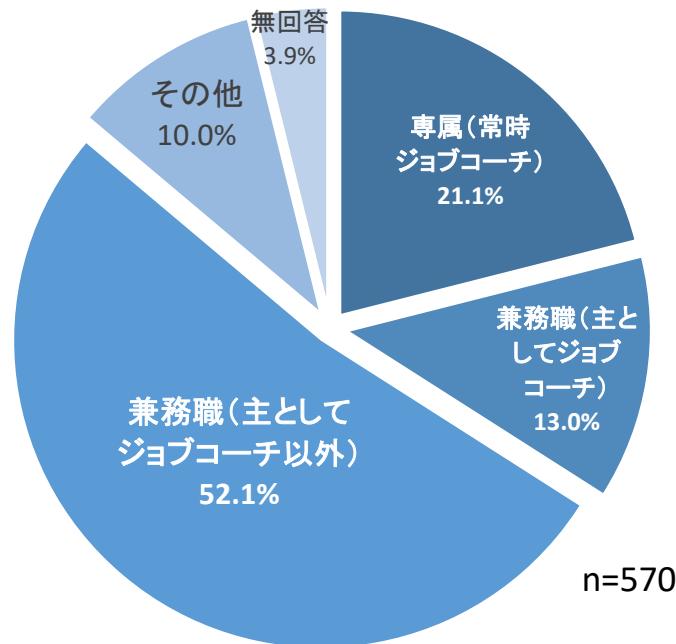
# 結果（企業在籍型ジョブコーチが回答）

## ＜企業在籍型ジョブコーチの雇用形態＞



# 結果（企業在籍型ジョブコーチが回答）

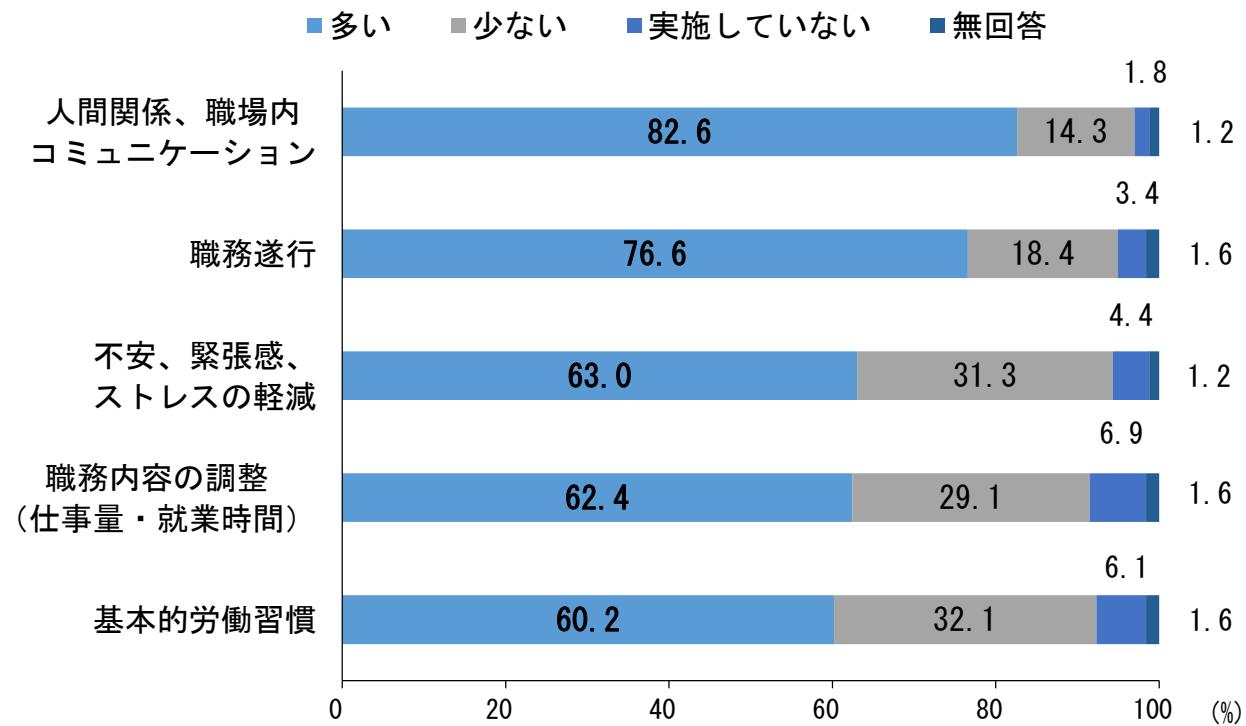
## <企業在籍型ジョブコーチとしての従事状況>



- ・常時ジョブコーチ業務に従事している者は2割程度。
- ・兼務職（主としてジョブコーチ以外）の一週間あたりのジョブコーチ業務従事時間は平均6時間。
- ・「その他」  
ジョブコーチとしての位置づけが不明確、支援を実施していない、など。

# 結果（企業在籍型ジョブコーチが回答）

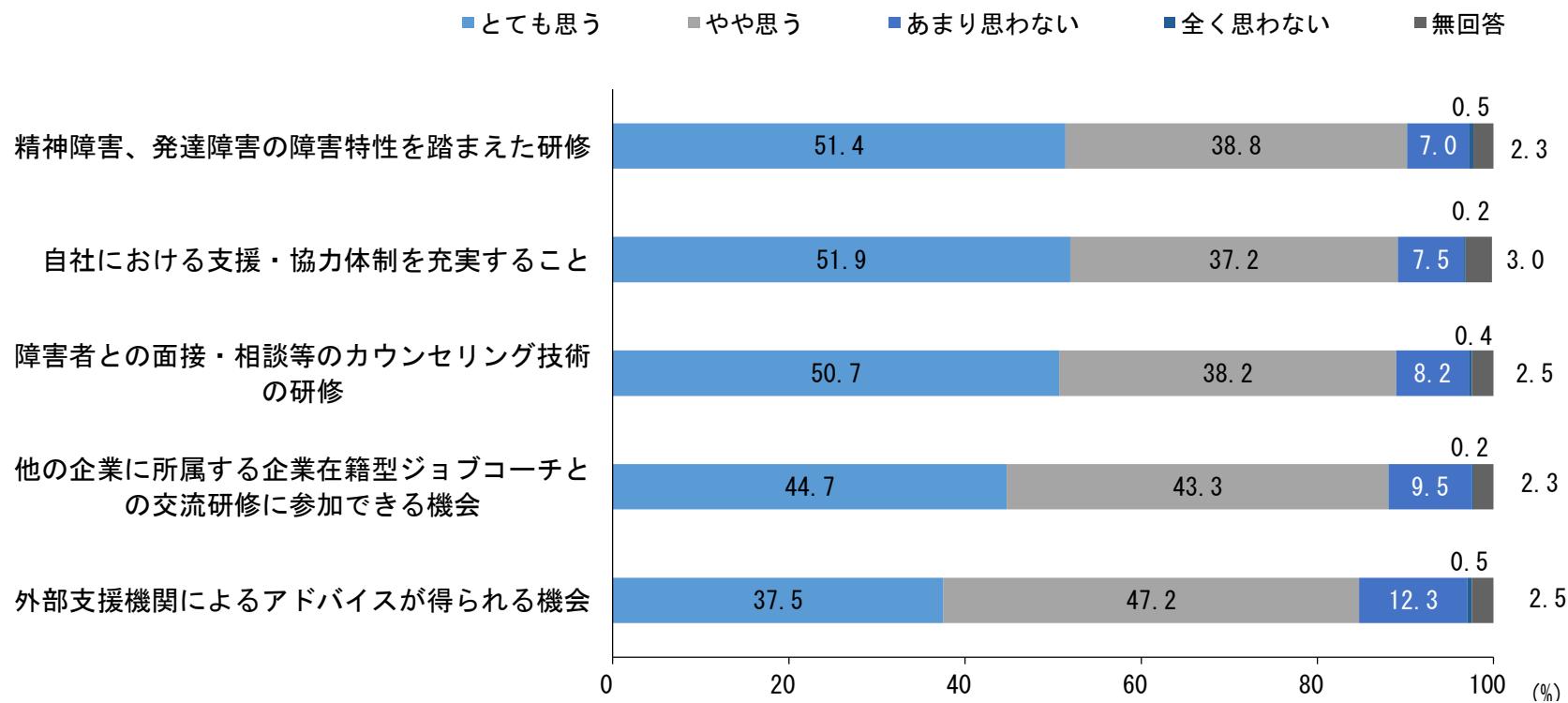
＜頻度が多い支援内容（上位5項目）＞



n=570

# 結果（企業在籍型ジョブコーチが回答）

<企業在籍型ジョブコーチの役割を担うために必要なこと（上位5項目）>



n=570

# ヒアリング調査

アンケート調査協力事業所、リファレンスサービス、各自治体の雇用事例集をもとに31社を選定。

主として障害者雇用に携わる人事・労務担当者、企業在籍型ジョブコーチ等に対して、2019年4月～10月に実施。

## ＜主なヒアリング内容＞

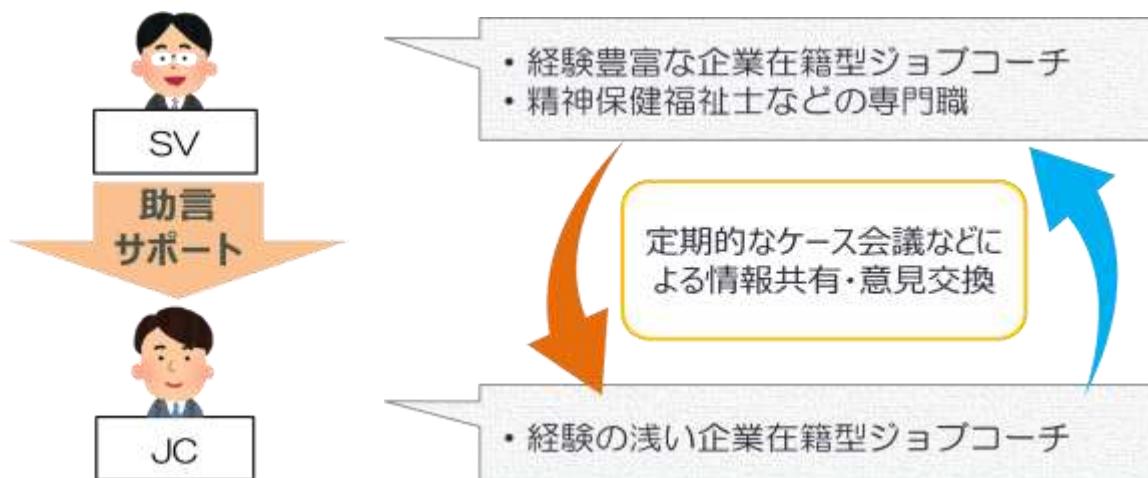
- ・企業在籍型ジョブコーチの属性
- ・企業在籍型ジョブコーチの職務内容
- ・ジョブコーチ養成研修受講後の変化
- ・企業在籍型ジョブコーチを取り巻く課題とそれに対する解決方法  
など

# ヒアリング調査結果

## ～企業在籍型ジョブコーチが活躍している事例～

### ①企業在籍型ジョブコーチに対する支援・協力体制

### ②企業在籍型ジョブコーチに対するスーパーバイズ



### ③企業在籍型ジョブコーチのキャリア形成

- ・スキルアップと並行したキャリアアップの仕組み

### ④精神障害者の職場定着支援ノウハウの蓄積

- ・精神障害者の支援ノウハウの提供・助言の要望
  - 地域センター等外部支援機関の利用
  - 同業他社の取組など、ノウハウの共有・意見交換の場の必要性



## 企業在籍型ジョブコーチが 活躍するために必要な条件

- ・役割の明確化、職務の配分
  - ・キャリアアップの仕組み
  - ・社内の支援体制の構築
  - ・支援スキルのブラッシュアップ
- など